

2014年4月17日  
株式会社朝日ネット

Press Release

## 大学教育向け新聞記事活用サービス「朝日新聞デジタル for アカデミー」 朝日新聞社と共同で、東洋大学にトライアル版の提供を開始

---

株式会社朝日ネット（東証一部、本社：東京都中央区、代表取締役社長：土方次郎）は、朝日新聞社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：木村伊量）と共同で、朝日ネットの教育支援システム「manaba（マナバ）」と、朝日新聞社の大学教育向け新聞記事活用サービス「朝日新聞デジタル for アカデミー」を連携させた新サービスを開発し、東洋大学（学長：竹村牧男）の教職員および在学生、約3万人にトライアル版の提供を開始しました。

「朝日新聞デジタル for アカデミー」は、朝日ネットの教育支援システム「manaba（マナバ）」に、朝日新聞社の記事データベース「聞蔵（きくぞう）」と、有料電子新聞「朝日新聞デジタル」を連携させた大学教育向け新聞記事活用サービスです。




教職員や学生は、「manaba（マナバ）」の中から、これらのデータを活用して教材やレポート作成、就職活動の一環として活用できます。

「manaba（マナバ）」は、クラウド型であるため、利用者は自宅からはもちろん、通学中でも、パソコンやスマートフォンを通して、いつでも「朝日新聞デジタル for アカデミー」を利用することが可能になります。

大学教育のICT化が進む中、学生の主体的な学びを促進する「アクティブ・ラーニング」（※1）が注目を浴びております。学生が学習や生活内で疑問に感じたことを、自ら調べ、理解を深める事は学習効果の向上が期待できます。本サービスでは、実社会との関わりを意識した学びや、実社会の出来事や話題を題材にした学びへと広げるためのツールとして役立ててもらうことを目的にしています。（※1 中央教育審議会 用語集より抜粋）

2014年度は、東洋大学を始めとして数校の大学にトライアル版を提供し、2015年度から有料サービスとして全国の大学へ販売していくことを目指します。

- ◆「朝日新聞デジタル for アカデミー」のサービス概要は、下記の通りです。  
「朝日新聞デジタル for アカデミー」は、朝日ネットの教育支援システム「manaba（マナバ）」に、朝日新聞社の記事データベース「聞蔵（きくぞう）」と、有料電子新聞「朝日新聞デジタル」を連携させた大学教育向け新聞記事活用サービスです。

	<p>レポート提出・回収、掲示板、資料配布等を行うシステムで、全国で200校以上の大学が導入しています。</p>
	<p>公共図書館、大学図書館向けの朝日新聞の記事データベース。全国の7割以上の大学図書館が導入しています。</p>
	<p>朝日新聞の有料電子版。朝夕刊の紙面イメージや速報ニュースをパソコンやタブレット端末、スマートフォンで読むことができます。</p>

※トライアル版の提供開始時は記事データベースのみの連携です。電子版紙面はシステム開発が完了した段階でトライアル版に追加し利用開始いたします。

<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 経営企画室

TEL 03-3541-8311

<商品・システムに関するお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 営業二部

TEL 03-3541-1911